





分析レポート:

トランプ政権誕生とベトナム政治情勢への影響(2025年前半最新): 相互関税46%やベトナム政府の対応まで基礎解説



2025年4月 ONE-VALUE株式会社



(1)はじめに

- トランプ政権の復活がベトナム政治と経済に与える影響のまとめ
- ベトナム政治情勢の変動:トー・ラム書記長の誕生と中央省庁の再編

(2)トランプ政権誕生の背景とその影響

- トランプ政権の誕生背景とその政治的スタンス
- アメリカの外交政策の変化(保護主義、貿易戦争)
- 対アジア政策(特にベトナムへの影響)
- アメリカ国内産業の保護と海外生産拠点への影響
- ※特に第1次トランプ政権(2017~2021年)におけるベトナムへの影響も分析。

(3)ベトナム経済に与える影響

- ベトナム経済の現状とトランプ政権の影響
- ベトナム経済の主要指標と成長率
- ベトナムの貿易収支に与える影響
- アメリカへの輸出依存度が高い産業の変化
- トランプ政権による貿易政策がベトナム経済に与える短期的・長期的影響

(4)米中貿易戦争とベトナムの役割

- 米中関係の変化とベトナムが果たす役割
- 貿易戦争によるサプライチェーンの再編成

(5)トランプ政権とベトナムの外交・貿易政策

- トランプ政権の対べトナム外交政策
- アメリカとベトナムの外交関係の強化と課題
- アメリカの対ベトナム貿易政策(特に農産物、テクノロジー分野)



(6)ASEAN市場との関係性

- ベトナムのASEAN市場における重要性と立場
- トランプ政権下でのASEANとの貿易と外交の動向

(7)ベトナムとアメリカの経済関係の展望

- 貿易摩擦後のベトナムとアメリカの貿易関係の変化
- ・ 経済協力の今後の展望:TPPとアメリカの関わり

(8) 米トランプ政権の対ベトナム追加関税とベトナム経済への影響

- 米国の相互関税:ベトナムは税率46%
- 短期的影響:GDP成長率へのインパクト、輸出・輸入の変化、雇用への悪影響、投資への影響と金融市場の混乱
- 中長期的影響:輸出市場の多角化、産業高度化と経済構造の転換、外国企業の投資再編
- 過去の類似ケースとの比較分析

(9)日本企業への影響と戦略的アプローチ

- ・ 日本企業のベトナム進出状況
- 日本企業のベトナム市場への進出動向
- トランプ政権下での日本企業の影響

(10)日本企業の戦略的対応

- 生産拠点の移管と投資戦略の再評価
- ベトナム市場における競争優位性の確保

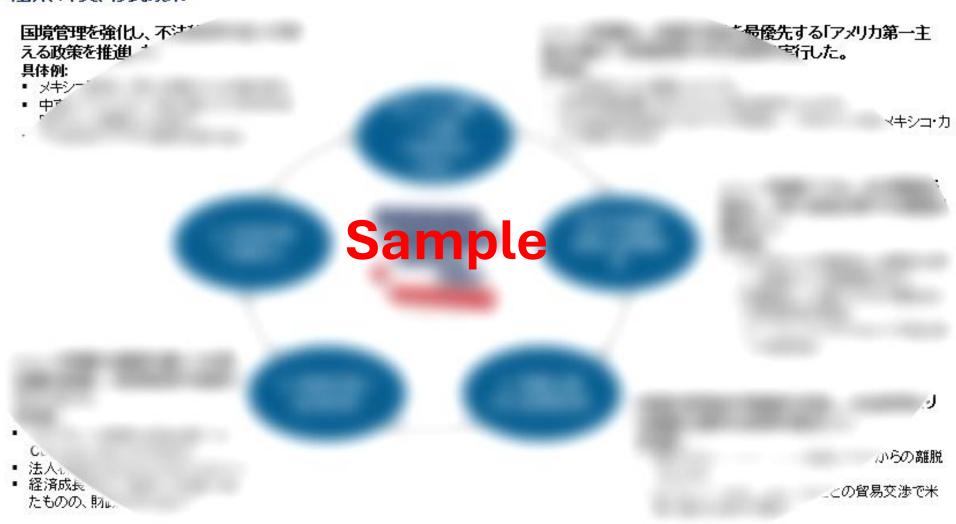
(11)今後の展望と結論

- トランプ政権の経済政策がベトナムの経済構造に与える長期的影響
- トランプ政権下でのベトナムの政治経済情勢とその影響を総括
- 日本企業が今後とるべき対応策と戦略



前トランプ政権は「アメリカ第一主義」を軸に、経済、外交、移民政策において保守的かつ強硬な姿勢を取り、米中貿易戦争が激化した。

経済、外交、移民政策



出所:新聞とトランプ大統領の遠。

前・ランプ政権の特徴



米中貿易戦争は2018年に本格化した。トランプ大統領が中国製品に高関税を課すと、中国も報復関税を実施。両国は追加関税の応酬を繰り返し、対立が深まった。

米中貿易戦争の経緯と内容

🚺 米国の対応

🚺 中国の対応

画国(

両国の対応

Sample





産業別に見た場合、プラスの影響を受ける産業とマイナスの影響を受ける産業に分類される。

トランブ政権下のベトナム産業別への影響



出所: 0.112 1.112011 2.1702





トランプ政権下でベトナムは対中国において利害が一致する国として重要視される一方、、中国と隣接する地理的特性の長年にわたる外交関係を活かしつつ、中立を保ちながら戦略的利益を得る可能性がある。

中国との外交関係:巨大な隣国との友好関係はベトナムにとって死活問題である

